



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

森とせせらぎネットワーク代表 平井資嘉寿

今、私達が日々利用している「江川せせらぎ遊歩道」は、中原区高津区の度重なる洪水対策として造られ、その地下50mには約8万トン余りの貯留管、10m地下には下水道本管が通り、地上部分の遊歩道は平成十五年六月に、市民待望のうちに完成いたしました。

昼間だけでなく、夜間にも利用している方を多く見かけます。歩くことは健康にも精神衛生上も大変効果があるようです。

昼夜を問わず多くの方々が利用しているこの遊歩道ですが、約二十年前に洪水対策構想が発表されてから現在に至るまでには紆余曲折がございました。まず私達は、意志を同じくする近隣町会の方々と「水と緑を考える会」を発足し、人工河川



等の先進地の視察や行政との交渉などをボランティアで進めました。その理想を実現した結果が現在の遊歩道であります。遊歩道完成に伴い「水と緑を考える会」は発展

はがき絵体験コーナー

中谷 倭文乃

第5回森とせせらぎ祭りを迎える今年も『はがき絵展と体験コーナー』を開催する事が出来ました。当日は天気はつきりしない時間帯もありましたが、たくさんの方々が描くことの好きなお子さん(絵を保育園児)や地域の方が、楽しそうに笑顔いっぱい参加してくれました。

はがき絵は下手でも上手でも、相手に伝われば、出して嬉しい、受け取って嬉しい喜びがあります。なにげなく過ごしている日々、身近な人にはがき絵を描いてみましょう。当日は子どもたちで大にぎわい。心に残る思い出となった。願っています。



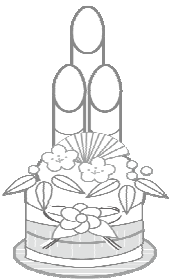
はがき絵展の様子の模様

森とせせらぎ祭りに寄せて

安楽寺住職 宗澤文良
 下小田中二丁目町会会長

第5回森とせせらぎ祭り、灯ろう流し等が例年の如く平井資嘉寿実行委員長を始め役員の皆様の尽力により盛会に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。さて、昨年3月に発生しました東日本大震災、秋の台風12号、15号の大雨の災害により尊いいのちを失われた方がたのご冥福を心から祈念するのとにも、被災された方がたにお見舞い申し上げます。特に、一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

昨年は、川崎の宝、二ヶ領用水竣工400年の記念の年でもありました。これに因んで、中原市民館において「二ヶ領用水竣工400年のシンポジウム」が、市民ミュージアム



恒例となりました夏の灯ろう流しや秋の森とせせらぎ祭り、またこれまで開催したシンポジウムやアンケート結果を踏まえ、利用者のモラルやマナー、水質や景観改善等の諸問題に、今後取り組んでまいりたいと考えておりますが、利用者や近隣の方々のご協力なくしては解決に至らないことは言うまでもありません。皆さまのご協力を今後とも宜しくお願いいたします。

水ものがたり」の企画展が開催されたりし(ともに安楽寺古文書が紹介されました)について関心が高まりました。森とせせらぎ祭り、森とせせらぎ祭りがこれと相俟ってより意義深い祭りとなられたことを心からお慶び申し上げます。ドイツの詩人ゲーテは「自然は常に正しく、誤りは専ら私にある」と述べています。

森とせせらぎ祭りが人間が日常受けている自然からの恵みのありがたさを子供達に伝えるすばらしい機会となつて益々隆盛に祈念いたします。

放射能汚染 せせらぎは大丈夫か?

田辺 勝義

福島事故発から放射能のせいで、中原平和公園でホットスポットが見つかり、一部立ち入り禁止になったと聞いて、多くの子どもが遊ぶせせらぎは大丈夫か、不安だ。そんな折、大庭さん達が放射能の測定への誘いがあり、平井さんとも相談して、初めて参加した。



新城公園から新城小付近、下新城公園、せせらぎ遊歩道と回りまわした。測定は、地面から0m、50cm、1m(新聞発表はこの高さ)で行われ、どこでも0.5倍位の数値になるにはまず驚きでした。乳幼児は、たださえ敏感なのに1.5倍の放射線を浴びていることになるのです。新城や下新城の公園は、よく掃除がされていくはやく、凡そ0.5(単位マイクログラム/時)で高ければありませんでした。それに比べ、新城小付近の側溝では、0.38と異常に高く、校門近くなのに怖いなと思えました。雨水でゴミや落ち葉が集まると残っているところは数値が高いということですね。

この測定結果はせせらぎ祭りの反省会などに話題になりました。放射線を再確認するそうです。私達もせせらぎ全体を測定してみようかと話しています。

広報担当より

お知らせ
 せせらぎネットワークでは秋の祭りや夏の灯ろう流しの運営その他のボランティア活動をスタッフを募集しております。またネットニュースカラー版をPDF形式でのメール配信も行っております。お問い合わせは下記までお願い致します。



二ヶ領用水について記された古文書(安楽寺所蔵)



次世代に
大切なものを伝えたい。
千々和みどり

地域の皆さん、
「第5回森とせせらぎ祭り」楽しんで頂けましたか？
前日から心配した雨もどうかやんで実施することができて本当に良かったと思っております。



祭り最後のくじ抽選会の模様

前日早朝に実行委員会が実施の決定をし、その指示を受けてボランティアスタッフ（以後スタッフ）の方々が地元の小中学校や町会にテントや椅子や机を借りて回って準備をしました。当日は早朝からのテント張り案内板の設置等などスタッフは大忙しでした。忙ししいは前日・当日ばかりではありませ

「森とせせらぎ祭り」を楽しんで下さった皆さん、今からすぐにボランティア活動に参加して下さい。知り合えるチャンスもなかった人と友達になり仲間になって、力を合わせみんなと一緒にやりましょう。自分の住む地域を、愛着の持てる魅力的で、豊かな故郷にするために。

連載 各地のまつりを訪ねて⑫
青墓の祭り〜大太鼓踊りを子どもにも伝える

佐藤克明

岐阜県の青墓（現在は大垣市の一部）に伝わる祭りの「大太鼓踊り」は、雨乞いが起源という芸能です。

青墓は、中世の歌謡集『梁塵秘抄』などに出てくる文化と歴史の宝庫で、念願がなつて、昨秋の祭りを訪ねることができました。

地元の白髯神社で、直径は百三十センチほどあり、重さ五〇キロの大太鼓を体に結わえつけて、叩きながら踊る、見た目にも、その音量も、迫力ある大鼓奉納の祭りです。ほか、に中小の太鼓もあります。



「無理して頑張らない」事が、趣味として楽しむ中高年の極意と言えるでしょう。

山登りにたとえれば、頂上まで登る体力（気力）のお有の方は、頂上を目指して頑張るもよし、体力（気力）に自信の無い方は、周りの風景（雑学・詩・作者の背景を知るなど）を楽しむつ、マイペースで行ける処まで行く。最も大切な事は、ストレスを貯めず、吟友と楽しく過ごす事です。（ここまでは前号に掲載）

せせらぎネットワーク及
関係団体イベント紹介

ネット新年会1月28日（土）18時
場所・老人ホームせせらぎ（旧教職員住宅跡地）地域交流スペース
電話75277555・会費2000円

第1回祭り実行委員会（3月にお知らせ予定）

井田健康の森を育てる会
2月2日（木）井田山クリーンデー
9時〜2月4日（土）冬鳥観察会
9時半〜

現代人形劇センター（ひとみ座内）
アジアの人形芝居4カ国交流ワークショップ1月21日〜28日・対象舞台表現経験者・見学は自由&レクチャーデモンストレーション1月29日（日）13時半〜料金一般3000学生2500・お問合せ（公財）現代人形劇センター
TEL04417772228

言い忘れましたが「金州城外」「爾靈山」とは、我が流では、教本の前の方に有って「基本節調」に近いことと、「強吟（力の入る吟：吟声を鍛えるのに適している）」のため、始めに習う漢詩です。

私達の若い頃は、合宿で朝から晩まで声をツブシテ修練しましたが、一番の思い出はやはり、吟友との語り合いと、合宿終了時の宴会

シリーズ地産地消
中原・高津の農家

前回取材した下小田中2丁目内藤さんからのご紹介をいただき、今回は下小田中3丁目の小島昭男さんの直販所に伺ってきました。

取材当日（昨年11月下旬）は天気も良く午前中の取材のあいだにも、次々と新鮮な地元野菜を求めて、お客さんが絶えませんでした。

これまで取材した直販所では、どこでもそうだったように、売れ行きは上々で、「早いもの勝ち」だそうでした。

小島さんの畑では40〜50種類もの野菜を栽培していて、中には珍しいものも。

「はやとウリ」小島さん（手前右）

なるほど記者も初めて見る「はやとウリ」や「紫のカリフラワー」など、棚には珍しい野菜が並んでいました。それぞれ野菜の食べ方は販売所にて聞いてみてくだ



叩きながら左右の足を交互に上げるだけでも相当の力がいられます。その上、ばちを軽くもって、手首をくると回しながら叩くのも、独特の奏法であることにも、踊りの要素なのでしよう。

近年、子どもたちにもこの芸を伝えようと、まず太鼓の叩き方を教えたというところから、「子どもにも関心をもってもらうには、今風のテンポの早い曲も教えるようにしないとついてこないかな」という指導者の声も聞きました。

やがて大太鼓を叩く若者が増えてくるに違いない、と思います。

ほんのこの20年で激減してしまった中原・高津の田畑です。都市部に残された数少ない自然からの貴重な恩恵と言えるでしょう。

地域の子どもたちを見守るように、いまある山や川、畑といった自然を大切に見守りたいものです。

小島昭男さんの直販所は下小田中3丁目24番8号
電話77773991



次回は小島徹さんの直販所に伺う予定です。
記事・写真
広報・本間